

令和2年度

学校自己評価報告書

令和3年 3月18日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

自己点検評価委員会

はじめに・・・評価基準、方法、根拠等について

本校では、学則第4条及び自己点検・評価規程に拠り、またPDCAサイクルをふまえ、学校評価を実施している。学則等の基準、今年度の学校及び各学科、係の方針、運営計画等にもとづいた教育活動や学校運営に対し、今年度の取組について総合的に評価した。

根拠として、令和2年度自己点検・評価実施要項にある各評価（各部署、授業、人事考課）資料、本校研修規程に拠る研究授業及び教職員研修会関連資料、定例の各会議（科会、科長会、教職員会議、各係等）の議事録、日誌、各報告書、復命書等がある。

なお、新型コロナウイルス感染症予防に係る対応のため、年間を通し、学校行事や教育活動、社会貢献や卒業生支援等の評価項目の一部について、自粛や中止、変更等、結果的に評価に係る活動に影響があった。ただ、感染拡大に対し、十分な配慮のもと適宜対処し、学生の不利益にならないよう又業務遂行に支障がないよう努めた。

評価結果にある改善策及び3月22日開催の学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会等をふまえ、次年度の学校運営にあたっていきたい。

評価項目を以下の10項目とし、評価基準を各種評価と同様、5段階（5：大変良い 4：良い 3：ふつう 2：あまり良くない 1：良くない）としている。

※単年度評価（中間との相対評価）とする。

※学校関係者評価委員会でも、「8財務」に関連づけられる意見が多いが、限られた資源や体制、社会情勢の中で、PDCA活動の効果（評価）は、概ね上がっていると考えられる。

1 教育理念・教育目標

	評価項目	評価
①	教育理念・目標が設定されている	5
②	人材育成像・指導方針が設定されている	5
③	①②を明文化している	5
④	①②について、周知徹底されている	4
⑤	①②について、実践し教育に現れている	3

[状況・課題]

- ・④について、科長会や教職員会議等で、教育活動に係る事項に関連づけ、確認、意識づけを図った。
- ・⑤に関連して、全学連携演習等の取組により、一部の項目で改善が見られる。

[改善策]

- ・⑤の「実践し現れている」関連で、基本的事項（時間、挨拶、受講態度等）について指導を要する一部の学生に対し、特に授業に係る決まり事を明示及び相互理解をふまえ、学校全体として客観的視点での指導につなげる。

2 学校運営

	評価項目	評価
①	学校運営方針及び各種規定が明確に定められているか	4
②	学校運営の事業計画が定められ、計画に沿って運営されているか	4
③	学校の運営組織や意思決定機能は効率的なものであるか	4
④	人事や処遇に関する制度が適切に整備され、運用されているか	4
⑤	業務の効率化、経営の視点による取組が行われているか	4

[状況・課題]

- ・コロナ感染症拡大の影響で事業計画の見直しや変更があったが、年間を通し、適宜対応できた。
- ・⑤について、引き続き、運営体制の変化に対応できるよう検討、準備する必要がある。

[改善策]

- ・学校経営は依然として厳しい状況であるが、処遇について、引き続き業務の効率化を図る等により、現状を下回らないよう配慮する。

3 教育活動

	評価項目	評価
①	カリキュラムは体系的かつ適正に編成されているか	4
②	人材ニーズ等に合わせ、カリキュラムの見直しが行われているか	4
③	成績評価・単位認定の基準は明確に設けられているか	4
④	授業計画が明文化され、それにもとづく教育を実施しているか	4
⑤	授業評価の実施、評価体制が整っているか	4
⑥	教員の資質、指導能力向上に対する方策を採っているか	3
⑦	資格取得の指導体制はあるか	4

[状況・課題]

- ・各項目とも、次年度に向け改善に取り組んでいる。
- ・コロナ感染症の影響により、予定していた全体及び個人の研修が中止となった。

[改善策]

- ・カリキュラム及びシラバス（新様式）の見直しをふまえ、教育活動に係る基本的事項を再確認するとともに、本校独自及び各科の特色を専門教育に活かす。
- ・姉妹校や関係団体との連携により、教育内容（特に医療分野）の充実を進める。
- ・評価委員の意見をもとに、医療情報管理科に科目「施設基準管理」を設置した。
- ・授業について、評価及び研修の方法を見直し、精度及び信憑性を高める。
- ・引き続き全体研修を企画するとともに、個々の専攻や指導力に係る研修参加を促す。

4 学修成果

	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	5
②	資格取得率の向上が図られているか	4
③	退学率の低減が図られているか	3
④	卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか	3

[状況・課題]

- ・全学科とも、就職率100%を達成した。
- ・こども科学生全員の資格取得（幼稚園教諭等）、短大卒業を達成できた。
- ・退学の低減に努めているが、後期に入り複数の退学者が出た。
- ・感染症の影響で対外的な活動を自粛していることもあり、卒業生の状況把握が困難な状況にある。 ※同じ

[改善策]

- ・カリキュラム及びシラバスの見直しをふまえ、資格取得に係る内容や方法等について担当者間の共通理解、体制強化を図り、資格取得率を高める。
- ・③について、今年度の状況をふまえ、早期の対応等、全学的な取組として検討する。
- ・④について、来校者や同窓会、各教員との関わりを通し、また、卒業生来校者名簿の作成（記入、整理）等、積極的に卒業生の状況の把握に努める。

5 学生支援

	評価項目	評価
①	進路指導に関する体制が整備され、機能しているか	4
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	4
③	学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	4
④	保護者と適切に連携しているか	4
⑤	卒業生への支援体制はあるか	3

[状況・課題]

- ・卒業生への支援体制はあるが、感染症の影響で、例年、実施している施設訪問（夏期）や卒業生の状況確認の機会にもしている実習先訪問がほとんどできなかった。

[改善策]

- ・4④と同じ。 ※同じ
- ・同窓会（蒼雲の会）組織の事務局としての役割だけでなく、卒業生に対する支援について検討する。

6 教育環境

	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上、充分に対応できるよう整備されているか	4
②	実習やインターンシップについて、十分な教育体制が整っているか	4
③	防災に対する体制は整備されているか	4

[状況・課題]

- ・施設や設備について、老朽化に伴う設備の修繕、整備や教育関連設備及び機材の交換等、厳しい財務状況であるが善処している。 ※同じ
- ・感染症対策の影響で、全学科とも実習期間の変更、学内実習への切り替えがあった。

[改善策]

- ・トイレや空調、ブラインド等、基本的な教育環境の整備を継続するとともに、同窓会からの支援についても検討する。
- ・インターネット環境やICT機器の整備、拡充について、実施に向け検討し、適宜導入していく。

7 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4
②	教育成果の情報提供は、適正に行われているか	5
③	入学選考は、適正かつ公平な基準により行われているか	4
④	学納金は、妥当なものとなっているか	4

[状況・課題]

- ・各項目とも、適性、公平、妥当の点で概ね良好である。 ※同じ
- ・学生募集活動について、感染症予防のため、特に対面による広報活動に影響があったが、ホームページやSNSの充実を図る等で対応した。 ※同じ

[改善策]

- ・引き続き、上記項目を念頭に取り組んでいく。 ※同じ
- ・受験者の利便性を考慮し、次年度の入学選考より Web 出願を導入する。

8 財務

	評価項目	評価
①	学校の財務基盤は安定していると言えるか	3
②	予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	3
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

[状況・課題]

- ・昨年度以上に、財務基盤の維持は厳しい状況である。
- ・予算、収支計画について、特に学生募集の費用対効果等をふまえ検討を要する。

[改善策]

- ・財務基盤の維持、回復につながる改組改編について検討し鋭意取り組む。
- ・他の収益事業について検討し、実現につなげる。 ※継続

9 法令等の遵守

	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
④	自己点検・評価の結果を公表しているか	5

[状況・課題]

- ・普段より法令遵守に努め、適正に学校運営にあたっている。 ※同じ
- ・個人情報について、特に管理上の取扱いに配慮している。 ※同じ
- ・自己点検・評価について要項により実施し、次年度に向け、各部署、各自の課題改善への取組が窺える。

[改善策]

- ・学生便覧及びシラバスについて、教育活動に係る取り決めや整合性、教育効果等をふまえ検討し見直した。

10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
①	学校の教育資源を有効活用した社会貢献を行っているか	4
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③	地域や関係団体との連携や交流を通して、地域活動に参加しているか	3

[状況・課題]

- ・「地域や関係団体との連携や交流」について、同窓会からの講師の招聘及びリモートによる特別講座を実施した。
- ・特に本項目に係る活動について、前半同様、感染症拡大防止を優先し、実施が困難な状況だった。

[改善策]

- ・感染症関連の動向、想定される状況をふまえ、社会貢献・地域貢献の在り方について改めて検討し、年間を通して計画的に実施する。
- ・本校独自のイベント（国際子ども図書館展示会等）を通し、関連団体との連携や交流を図り、社会貢献につなげる。

以 上